

《入選》

差別

中央中学校 三年

安田^{やすだ} あおい さん

みなさんは部落差別について知っていますか。部落差別とは、部落の地域の人々があらゆる場面で差別されてしまうことです。私はこの人権学習で部落差別について学んで、その人の人間性は分らないのに、生まれたところや住んでいるところで差別するのはとてもひどいことだと思いました。

部落差別を実体験された方のお話を聞いて、部落差別は現代にも残っているというのを知って、今までは、昔のことだから今は関係ないと思っていましたが、その考えが改まりました。また、

部落差別だけではないですが、周りの意見や思いこみで自分も無意識に差別をする側になるかもしれないという言葉を聞いて、私もそのよいうなことがあったかもしれないと思います。少し考えてみると、普段の生活の中でも男子だから、女子だからというような言葉をよく耳にしている、私はそれも差別なんだ、ということに気がつきました。他にも、普段よく聞くことの中にも差別につながるものがたくさんあると思います。私はその原因として、自分の思いこみや偏見もそうですが、家族や友達など、身近にいる信頼している人の意見に流されてしまうことが挙げられると思います。差別をなくすためには、たとえ信頼できる人の意見でも、その意見を信じる前にしっかりと自分で考え、判断し、まちがっていたら相手

にまちがっているということとを伝えることが大切だと思います。私は、人に自分の意見を伝えることがあまり得意ではなく、何も言えないまま流されてしまうことが多いので、もし自分の友達や家族が差別に加担するようなことを言っていたら、少しずつでもまちがっていることを伝えられるように意識していきたいと思いました。このようなことから、部落差別は今もお続いていて、部落差別だけでなく、身近にある差別をなくすために正しい知識をしっかりと持った人になりたいと思いました。